

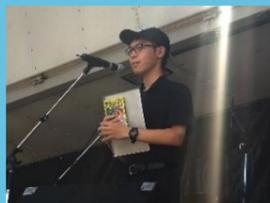


ビブリオバトル 2023 in 名大祭

7月9日(日)に、第10回となる「ビブリオバトル2023 in 名大祭」を開催しました。コロナ禍により開催を見合わせた年や、オンライン配信で実施した年もありましたが、今年は満を持して完全対面での実施と相成りました。

今回は栗村さん、塩田さん、中嶋さんの3名にエントリーいただき、三つ巴の決戦となる予定でしたが、中嶋さんが体調不良により急遽欠席せざるを得ず、図らずも栗村さん、塩田さんの一騎討ちとなりました。

当日は、30℃超えの真夏日となり灼熱となった野外ステージにて、観客の声援も飛び交う中、2名のバトルが暑さを上回る熱量で本への思いを大いに語ってくれました。



投票の結果、チャンプ本は塩田さんが紹介した『美しい彼』に決定。副賞として図書カード 5,000 円分の目録が堀川真館長より塩田さんへ贈呈されました。惜しくも優勝を逃した栗村さん、体調不良により急遽欠席された中嶋さんには参加賞として図書カード 2,000 円分の目録が贈呈されました。なお、当日の熱戦の様子は、学内者限定となりますが大学祭配信 URL からアーカイブの視聴が可能ですので、当日参加できなかった方も是非ご覧ください。

□■ = バトラ=&エントリー=本 紹介 = ■□

社会保育学科 1 年 栗村 慶正 さん

『ポケモン空想科学読本』 柳田理科雄著 (オーバーラップ)

私が紹介させていただいたのは、「ポケモン空想科学読本」という本です。この本は「空想科学読本」の内容がポケモンに特化したものであり、ポケモンの能力をユーモラスな解説を織り交ぜて科学的に検証・考察する本となっています。ポケモンや理科が好きの方、空想科学読本のファンの方は特に興味を持てますし、そうでない方も問題なく楽しんで読むことができます。ビブリオバトルでは負けてしまったのですが、自分の好きな本を人前で紹介できて満足したので、また機会があれば出場してみたいです。



社会保育学科 1 年 栗村 慶正

社会福祉学科 1 年 塩田 桃世 さん

『美しい彼』 凧良ゆう著 (徳間書店)

はじめまして、一年社会福祉学科の塩田桃世です。このたび初めてビブリオバトル出場という貴重な経験をさせていただきました。

私が紹介させていただいた「美しい彼」という作品は、今年度の本屋大賞受賞者である凧良ゆうさんにより 2014 年に執筆され、映像化も大ヒットを冠した人気作です。

吃音を理由にクラスに馴染めずにいた主人公・平良がクラスの頂点で孤高の王である清居に一目で恋をし、使いつ走りになることで熱心に尽くすことにより忠誠を誓う学園恋愛小説になっているのですが、この作品を読み進めるうちに平良の一風変わった愛情の形に読者は疑問を抱き始め、気づくと深い理解をしているとともに、自らも清居に好意的な感情を持っていることに気づかされることになるでしょう。

なぜなら、この作品は平良視点で描かれており、清居に恋をしている最中の視界の煌めきや胸の高鳴りを巧みな描写で多彩に表現されているため、平良自身の神聖な恋の追体験が出来ることもこの作品が多くの層に人気を博した理由のひとつだと思います。

当日会場では、拙いながらもスピーチを行いました。図書館員さんと見に来てくださった方々の暖かい支えのお陰もあり優勝という名誉をいただくことができ、大変嬉しく思います。この場をお借りして感謝申し上げます。当日ご覧にならなかった方も、「美しい彼」にぜひ興味をお持ちいただけたらと思います。



— 図書館スタッフ BOOK GUIDE —

図書館だより
出張版

本学図書館 Facebook では、運営にかかるトピックスとともに、スタッフがおすすめの本を『今週の本』として週替わりで紹介をしています。どうぞ引き続きそちらもご覧ください。

大学図書館 Facebook <https://www.facebook.com/ncu.library/>



【今週の本】 No.321 (7月19日投稿記事より紹介)

『食べものが足りない! 食料危機問題がわかる本』 井出留美/著 手塚雅恵/絵 旬報社

著者の井出留美氏は、東日本大震災での支援物資の廃棄に衝撃を受け、食品ロス問題の専門家として office3.11 を設立し活動しています。この本を読んで考えさせられることがたくさんありました。特に、3章「食料危機を解決するために」41.利他の心を養う。そこに“自分のことを最初に考えるのは仕方がないかもしれない。けれど、自分さえよければいいのではなく、相手の立場に立ってものごとを考えてみる。(p.111)”と書かれています。「利他」これが問題解決のキーポイントだと思います。

世界の10人に1人が飢餓に苦しんでいます。そう聞いてあなたはピンときますか?

毎日食べたい時に食べ、冷蔵庫内で消費期限が過ぎて廃棄する。そんなことを繰り返してはいないでしょうか?世界は繋がっています。この本を読んで、食料危機問題を自分がかかわる問題とし、自分ができることからアクションを起こしてみよう。

子どもにもわかりやすく書かれていて、当館では児童書に分類していますが、参考文献と資料が2ページに亘って掲載されていますので、学術的にも利用できる資料です。 [田端]



図書館サークル「ぱたん、ぺら」スタート!

5月末に、本学初の図書館サークル「ぱたん、ぺら」が堀川真館長を顧問とし、学生有志により設立されました。

図書館職員も時折顔を出させていただいておりますが、皆さん気さくに輪に入れて下さり、本が好きな方は勿論、そうでない方も気軽に参加できる居心地のよい空間だと感じました。今後の活動にもますます期待のかかるところです。



今回、サークル長の北條はる香さん(栄養学科4年)よりサークルについての紹介文をいただきました。

本に興味のある方も、何となく気になる方も、この機会に参加されてみてはいかがでしょうか?

みなさん、こんにちは。「図書館サークル ぱたん、ぺら」の北條はる香です。図書館サークルは5月の末に立ち上げたばかりのサークルになります。サークルが出来たことを知らない方もいらっしゃるのではないのでしょうか?そこで、今日は図書館だよりの場をお借りして図書館サークルについてお話ししたいと思います。



「図書館サークル ぱたん、ぺら」は、現在学生10人と顧問の堀川先生、図書館の職員の方々と活動をしています。人が好きな本に興味がある方、本の話がしたいという方や、普段はあまり読書をしないという方まで幅広い学生達が活動に参加しています。

隔週木曜日、図書館1階のプレゼンテーションルームで18時30分から20時まで活動をしています。最近の活動では、今読んでいる本やおすすめの本の紹介、ミニブックトークなどを行いました。先日開催された学校祭では、こども向けの工作ワークショップと絵本の読み聞かせを行いました。折り紙口ケットと発射台、ストロー人間をこども達と作り、おすすめの絵本の読み聞かせをして楽しみました。



今後の活動としては、本の帯・ポッス作成、サークルメンバーが推している本のフース作りなど、本や図書館に関わる活動を行う予定です。また、市内の小中学校の読書活動支援やこども向けの工作ワークショップなど、本を通して地域の方やこどもと関わる活動も行う予定です。

本を通して多くの人と関わってみたい方、本について話せる友人がほしい方、図書館の仕事に興味がある方、新しい趣味を作ってみてみたい方、本が好きな方も本をそんなに読まない方など、いろいろな方におすすめのサークルです!もし興味がありましたら、お友達と一緒に見学に来てたり、私 (e502140@nayoro.ac.jp) に連絡をしてください。

あなたと活動できるのを楽しみにしています。

栄養学科4年 北條 はる香

第13回

名寄市立大学図書館 サイエンスカフェ 開催のご案内



今年度で第13回目となるサイエンスカフェを、8月5日(土)に開催します。

今回は「女性のためのスポーツサイエンスカフェ ~InBody®の測定結果から読み解く~」をテーマに、本学教養教育部准教授の清水幸子先生にお話しいただくこととなりました。

『自分の身体について知り、一人一人にあった身体づくりを考えてみよう』ということで、体組成と骨密度を計測した後、測定結果について解説いただくとともに、運動面、栄養面からの身体づくりのアプローチについてもお話しいただきます。

日々家事に仕事に頑張る女性の皆様に、是非おすすめの内容となっておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

【日時】2023年8月5日(土) 10:00~12:30 (開場 9:50)

【会場】名寄市立大学図書館1階 プレゼンテーションスペース
(名寄市西4条南8丁目1番地)

【参加費】無料

【定員】30名(先着)※定員に空きがある場合には当日参加も可能です

【申込方法】QRコードからの申込み(Microsoft Formsが開きます)の他、



当館カウンターでも直接受付しています。

※QRコードが読込めない場合には以下のアドレスからお試ください。

<https://forms.office.com/r/eddmu9DBBr>

【問合せ先】01654-8-7671 (大学図書館直通)

第13回サイエンスカフェ
私にあった身体づくり、みつかるかも。
女性のための
スポーツ
Sports
サイエンス
Science
カフェ
Café
~InBody®の測定結果から読み解く~
体組成や骨密度を高精度の機器で科学的に計測し、さらに食事改善といった栄養学からのアプローチも試みます。
講師: 清水 幸子 先生
名寄市立大学 教養教育部准教授
日時 2023年8月5日(土) 10:00~12:00 (開場 9:50)
会場 名寄市立大学図書館1階 プレゼンテーションスペース
定員 30名 (名寄市西4条8丁目-1)
参加無料
申込: 右のQRコードを読み取りフォームを開き必要事項を記入の上、送信してください。
お問い合わせ: 01654-8-7671
主催: 名寄市立大学図書館
後援: 名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター、NSスポーツコミッション

推薦図書コーナー

『監獄の誕生 監視と処罰』 ミシェル・フーコー著、田村 俣訳、新潮社

管理社会を考えるうえで私が最も刺激を受けた本のひとつ。

フーコーの描く管理は、監獄の「一望監視システム(パノプティコン)」によって人間は「規律」を内面化し、「従順な身体」になるというもの。

フーコーの哲学は資本主義の大工場や病院や学校などの管理システムの分析にもつながります。権力がいかにして身体と精神を支配するかを描いた、少し怖い本です。

フーコーの著作はどれも面白くて、『性の歴史』や『狂気の歴史』などもぜひ読んでみてください。

(教養教育部教授 小古間 甚一)

<図書館3階開架にも所蔵があります 請求記号: 326.4/F>

